



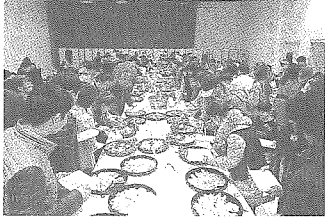
12月9日(土)午後4時より、加茂市産業センターに於て、世界料理パーティーが開催された。主催は加茂市国際交流協会(加茂市役所総務課国際交流係内)。加茂市内在住の外国人、近隣市町村にお住まいの外国人、新潟経営大学の留学生を含む約220人が参加した。



〈加茂市〉世界の料理パーティー 加茂市国際交流協会



開会挨拶で五十嵐事務局長は「今年で20回目を迎えました。最初は各家庭で作った持ち寄りでしたが、今回は歴史を紹介し、協会副会長の吉田副市長の音頭でかんぱい。後、料理の紹介が発表された。中国の水餃子、インドネシアのアシ・クニン(鶏肉入りタンドリとココナツミルクのビーフン王子添え)、韓国(チャプチェ(韓国の春雨炒飯)、トッポギ(韓国餅の辛煮)、フライピビンバ)、フィリピン(揚げ春巻き)、スリランカ(ポテトカリ)、パンフキンカリ、チキンカリ、ベトナム(パンボットロック(ぶるぶる餅のエビ包み)、又クマムソース(ベ



トナムの魚醤)、日本(たまご焼き、大福餅)と7カ国の料理の紹介を全て作った外国人とボランティアで協力した日本人スタッフがステーションで発表した。比較的香辛料の多い東南アジア系の料理が多いせいもあって、比較的辛い料理が多いので、ベトナムのエビ包みギョーザや日本のたまご焼きといつたあたりで焼きた料理は短時間で無くなった。



ステージ上ではアトラクションが始まる。日本からは弓道、カクテルパフォーマンス、ス。ルーマニアからはユリアさんのダンス。日本からフラダンス(ハラウレア☆カールズ)。フライピビンバは阿部ジュリアさん&ミリアから、インドネシアからはレンドネシア人が歌を披露。ルーマニア出身のユリアさんはマイケルジャクソンはダンスを踊る。最後はジュリアさんを中心としたZumbaダンスを踊って笑顔満開のステージパフォーマンスが繰り広げられた。例年であれば、ロシア料理も並ぶというが今回はお休み。市内外在住の外国人とボランティアが市民館、コミュニティセンターに集まって、朝10時から約100人分の料理を作る。6時間がけて準備をする。会場は加茂市産業センターの1Fホールには民族衣装を着た外国人がひとときを引く。日本の中学生の参加も多く、新潟経営大学の留学生は教授陣と一緒に参加し、ステージ上で繰り広げられるパフォーマンスに一緒に



にノリノリで踊っていた。中でも各テーブルに一人一人にチラシを持って回っていたユリアさんは、ステージで歌と踊りを披露。マイケルジャクソンの踊りは永年のキャンリアを伺わせる。そのチラシは2月11日に、三条市矢田の光善寺でチャリティライオン&トークを行なうという告知。ユリアさんは光善寺の坊主(住職の奥さん)の坊主・ユリア・マイヤさん。日本に来て22年。音楽を趣味として色んなステージに立ち底抜けに明るい。各地のライオンスクラブ等に講話に行き、必ずラスト10分間はマイケルジャクソンの踊りを披露する。「世界の料理パーティーは加茂市オリジナルで、加茂市に嫁いだ外国人妻たちの声掛けで県内各地から集う。加茂市役所職員さんたちの献身的な段取りと運営でとても心が温まりました。



